

技術科

1 年

※DF特太ゴシック体は学力向上に関わる内容

※下線部は表現する能力の向上に関わる内容

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能 材料、加工についての知識は概ね低くない。しかし、体験的な学習が不足しているためか、習得した知識を実践・体験的な学習で道具を使用して表現することが難しく指示された作業に対応する応用を持ち合わせている生徒がほとんど見られない。</p> <p>2 思考・判断・表現 生活の中から技術に関わる問題を見出し、新しいものを生み出したりするために解決すべき課題を設定し、解決策を具体化（設計・計画）し、具体化できる力は概ね低くない。しかし、それを確実に表現する力と、正しい工具の取り扱いが身につけていない生徒が多くない。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 全体的に意欲的に学習に取り組んでいるが、受け身的な学習に終始している生徒が少なくない。疑問を持ち、自ら探求し、理解を深める系統的、実践的、体験的な学習が全体的に不足している。</p>	<p>1 知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習内容、使用工具、学習目標、学習方法、評価の観点等内容やめざすものを明らかに示し、具体的な作業手順及び方法を実践する。 ・1単位時間の内容・手順・目標を明らかにする。 ・予めつまずく箇所を予測して個々のフォローアップを行う。 <p>2 思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習内容・手順を明確にした補助教材（プリント）と治具を準備して、具体的な指示を行う。 ・教材見本・作品例を示し、<u>失敗例から工夫すべき点を見つけようとする場を多めに設定する。</u> ・安全を第一に実習する姿勢を身につける。 ・<u>知識を活用する場面を多く設定する。</u> <p>3 主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業要素毎に練習課題と失敗例作品を用意する。 ・ものづくりに必要な知識を体験を通して活用する場面を用意し、習得した知識の理解を深める ・定着が十分でない生徒や作業が遅れている生徒に対してフォローアップを行いより確実な定着を図る。

課題分析	授業改善推進プラン
<p>1 知識・技能 生活で利用されている機器操作技能は概ね低くはない。しかし、それらに関する基礎的な知識や、考え方などを新たな課題に応用できる力まで高まっている生徒と、正しい工具の取り扱いが身につけていない生徒が多くない。</p> <p>2 思考・判断・表現 習得した技術の知識や考え方を実践・体験的な学習場面で応用、活用し、理解の深化や技能の習熟を図るとともに、技術によって課題を解決できる生徒が多くない。基本的に興味を持って取り組める姿勢は多く、思考・表現にも個性的な生徒が出始めた。</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 全体的に意欲的に学習に取り組んでいる。教材に対する興味を持つ生徒は多い。意欲が低下してきている生徒は見受けられない。今後の流れの中では、資料を活用し、考え、理解の深化や技能の習熟を図るとともに、技術によって課題を解決する力や自分なりの新しい考え方や捉え方によって解決策と構想を必要とする内容となる為、大きく生徒に個人差が見受けられる事も予測される。</p>	<p>1 知識・技能 ・年間の学習内容、方法等めざすものを明らかに示し、具体的な作業手順及び方法を実践する。 ・1 単位時間の内容・手順・目標を明らかにする。 ・予めつまずく箇所を予測して個々のフォローアップを行う。</p> <p>2 思考・判断・表現 ・資料を参考に活用できるように、部品ごとの教材見本・治具・参考例画像等の多面的な内容を用意する。 ・ものづくりに必要な知識を体験を通して活用する場面と工夫を伴う実習課題を用意し、課題解決力につなげる</p> <p>3 主体的に学習に取り組む態度 ・作業要素毎に練習課題を参考例を用意する。 ・ものづくりに必要な知識を活用する場面を用意し、習得した知識の理解を深める ・定着が十分でない生徒や作業が遅れている生徒に対して、予め予想できる失敗例を提示して、成功体験により意欲を促し、併行してフォローアップを行いより確実な定着を図る</p>